

04 八王子中町でのまちづくり活動

Urban Development Activities for Naka-cho in Hachioji City

八王子中町を対象とした花街の雰囲気の回生 及び活性化に向けた活動支援



■活動地域

東京都八王子市中町

■活動期間

2011年～継続中

■活動体制

工学院大学 野澤研究室／
八王子市中町地区まちづくり協議会／
八王子市まちなみ整備部まちなみ景観課／
まちづくりアドバイザー

■活動キーワード

中心市街地／花街／黒塀／柳／石畳

■2019年度活動メンバー

B4：岩澤瑠輝、下宮愛梨、諸泉杏実
B3：高橋豪太、田苗和倫、藤井知香、柳澤加奈

対象地の概要

明治30年の大火をきっかけに花街が集約した「中町」では、産業ともに花街文化も発達し、大正末期には150名ほどの芸妓数を誇っていた。一時は織物産業の衰退とともに芸妓数も減少したが、近年かつての花街の雰囲気を回生する気運が地元中心で高まり、暮らしに歴史と文化の薫るまちづくりを目指している。



活動経緯

本研究活動は本校が所在する東京都八王子市の歴史的資産である花街文化の継承と活性化を目的として活動してきている。

八王子市では平成18年度の施行された八王子市地区まちづくり推進条例にて、中町地区を対象に地区まちづくり協議会を発足した。

その中で若者の考えを協議会に反映させるために、学生の立場からの意見を研究活動を通し提案している。

これまでの活動

路地や芸者の文化が残る地区でのまちづくり活動や、黒塀のデザイン提案、ポストカード作成、八王子祭りへの参加、石畳のガム剥がしなどの清掃活動など、多様な活動に参加した。

2012
|
2013

【黒塀のデザイン提案】

中町の資源である黒塀を活かして駐車場のフェンスを改装・塗装するプロジェクト。

2014
|
2017

【花街マップ作成・景観整備・空き地利用】

散策マップの作成、違法駐輪対策や清掃活動を実施。イベント時には空き地活用を行ってきた。

2018

【他大学との連携】

桜美林大学の学生と連携し、花街を盛り立てる検討や八王子まつりでの協力を行ってきた。



今年度の活動内容

【今年度の活動目的】

地域の人と親交を深めるため例年参加している八王子祭りに今年度も参加する。その際に2017年度の甘味プロジェクトの資金を使い研究室と中町のオリジナルTシャツの作成を行う。Tシャツづくりを通して学生が中町の人々と一体となり八王子祭りに参加するという意識を持つことができる。

下半期には来年度の花街マップの更新に合わせ黒塀などの写真撮影とまち歩きを行う。

【八王子祭り】

八王子祭りではこれまではかき氷・手ぬぐいの販売、スタンプラリーの手伝いなど、中町まちづくりの活動資金にすると共に、多くの人が集まるこの機会を利用し、中町花街をより多くの人に知ってもらいたいという目的から始まった。今年度は8月2~4日に行われ、今年は手ぬぐい・うちわの販売とスタンプラリーの手伝いを行った。

【Tシャツ作り】

2017年の八王子祭りで販売したかき氷の売り上げ資金を活用し、今年度は記念にオリジナルTシャツの作成を行なった。背面のデザインは学生が中町をイメージし作成した。Tシャツは今年度の八王子祭りの際に学生たちが着用し手伝いを行った。

【花街マップ作り（更新）】

2016年に発行された現在の花街マップを今年度から来年度にかけて更新していく。それに向けて10月にパンフレット用の写真撮影を実施した。協議会の定例会議で話し合いを進め、2020年夏ごろの完成を目指している。

【来年度活動予定】

中町でランドスケープデザインのお仕事をされている石川さん協力のもと、花街マップの更新に向け、現在協議中。マップの多言語化や中町の芸子さんにヒアリングを行うなど、来年度の活動の中で検討、実施していく。

また、今後は花街マップの更新とともに、夏に開催される八王子まつりについてもどのように関わっていくのか、引き続きまちづくり協議会との協議の中で方向性を再確認し、具体的な考えを提案していく。

